

週日の説教

金 大烈 神父 2009年8月21日(金)

《まず神様から愛されていることを実感しましょう》

今日の福音(マタイ 22・1 14)で、イエス様は、第一の掟として「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」とおっしゃいましたね。第二の掟は、「隣人を自分のように愛しなさい。」です。

最初に私たちが守らなければならない掟は、全てをかけて神様を愛することです。そして、同じように重要ではありますが、神様への愛ができたあとに、守らなければならない掟が、隣人を自分のように愛することです。さあ、この二つの掟に順番があると思いますか? (“無い” と答える) 実は、あるのです。

皆様は今まで、いろいろな愛の経験をしてきたと思います。恋も愛も体験したことがあるでしょう。親子の愛情も体験したと思います。友情のような愛も感じてきたでしょう。いろいろな愛を体験しながら、今まで生きてきたと思います。さあ、それらの愛は、どうでしたか? 完璧でしたか? 「これは本当の愛だ。」と誰にでもはっきり言えるくらい素晴らしい愛だったでしょうか?

ここで順序が生じます。私たちクリスチャンは、最初に '完璧な'、'限らない' 神様の愛を体験するべきです。今まで私たちには、頭で、心で、「これは愛だ」と思ってきたこと、錯覚してきたことがたくさんあったと思います。その愛によって、人を生かすのではなく、殺してしまったこともあったでしょう。やはり人間の愛というもの自分勝手です。自分が中心になってしまいます。自分の感じ方や見方によって、全てのことを量り、判断してしまいます。そして「これは愛です。」と言いながら、裁いてしまうのです。誰でもそのような経験があると思います。なぜなら私自身もそうでしたから。「これは、愛だ。キリストのいう愛だ。」と思ったのに、結局いつも失敗でした。そして「これは愛ではなかった。出会わないほうがよかった。」というような体験をしてきました。たぶん皆様も同じでしょう。結局私たちが、イエス様のおっしゃったような愛を体験するためには、何よりもまず、神様と自分との関係の愛を体験しなければならないのです。しかし、ものすごく難しいです。叫んでも答えはありません。動いても返事はありません。いくら努力しても、目に見えるような進歩はありません。ただ、見えない存在に向かって「私は、あなたを愛しています。」と言い続けるような祈りしかできません。

今日の福音でイエス様がおっしゃった「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、まず神様を愛しなさい。」ということは、まず、神様がどのように私を愛しているか、耳を傾けなければならないことを意味します。そのために、どのくらい努力してきたか、反省するべきでしょう。本当に「心を、精神を、思いを尽くしてあなたを愛しています。」と言えるくらい、愛を求めるために頑張ってきたでしょうか。

皆様、私たちは、口では「神様を愛しています。」と言えます。しかし、その真の味を分かるためには、「どんな状況に陥ってもあなたを信じます。あなたが最後まで私を一番よいところへつれて行ってくださることを硬く信じます。」という告白ができなければなりません。それができる人ならば、神様との愛ができたとあえて申し上げられます。

さあ、二番目の掟に入りましょう。「隣人を自分のように愛しなさい。」この言葉の中で、私たちが一番耳を傾けなければならないのは『自分のように』という部分です。先ほど申しあげましたが、人間が「自分のように」というと、「自分勝手に」となってしまいます。自分の考え方・やり方で、人々を愛するか、憎むかが決まってしまうのです。「自分のように愛しなさい」ということは、まず、自分に対して本当に正しい愛を持っているか、考えなければならないということです。自分を愛すること

さえ分からない人が、隣人を愛すると言うのは、理屈に合わない話です。同じ間違いをするだけです。ですから、「自分のように」と言う言葉を使う前に、まず自分を正しく愛することを考えなければなりません。

皆様、私は、黙想をとおして何回も、自分の中にあるいろいろな傷、自分との和解について話してきました。自分が正しく自分を見るためには、まず神様の言葉に耳を傾けなければなりません。神様は何を願っているのか、私は何の意味を持ってこの世に生まれたのか、私は神様から命じられたことを忠実になしとげて来たか。それを振り返ってみなければ自分を愛することができません。「自分を愛しています。」と言いながら、自分を愛する方法さえ分からない人々がほとんどです。私たちは、それに気づく必要があると思います。

そのために順序が大切になります。今日の福音では、まず神様との愛の体験ができなければ、自分を正しく見ることもできない、と話されています。

皆様、神様が私たちを愛していることを実感してから、私たちは「隣人を自分のように愛します。」と言えるのではないのでしょうか。

さあ、今日の福音をとおして、もう一回振り返ってみましょう。イエス様がおっしゃったのは、愛によって全ての希望と意味と喜びができるということです。このような愛の体験がなければ、私たちは希望を失います。何の意味もわかりません。ただ、えさを与えられて生きていることになります。

愛しながら生きられるよう、神様の恵みを願いましょう。

ありがとうございました。